

# しののめ

発行 ● 鳥取県立鳥取東高等学校同窓会 東雲会

鳥取県鳥取市立川町5-210 〒680-0061

TEL 0857-22-8495

FAX 0857-22-8497

Eメール torie-h@mailk.torikyo.ed.jp

出版 ● 株式会社 サラト

兵庫県姫路市北条宮の町172 〒670-0948

TEL 079-284-1380

FAX 079-224-7746

題字 柴山抱海氏（特別会員）



## 鳥取東高等学校 東雲会

### 鳥取東高の自由の気風と生徒会



鳥取東高等学校同窓会東雲会

会長 八村 輝夫（山7）

私が東高に入学した昭和二十八年は、昭和二十五年

憶はない。

特に記憶に残っているのは、運動会の際に大きな張

が新しい体制で始まった年だった。前年の二十七年には鳥取大火があり、学区制

も廃止された。普通科、工業科、農業科の三つの学科

を持つ総合高校だった東高は、この年に定員六百名規

模の普通科単独の高校として独立した。

先生方も新しい教育をとい

ろいろと議論をされたようだが、生徒の自主性を尊

重して自由闊達な活動を認めるという伝統は維持され

た。生徒会にも活気が出てきて、生徒会が中心となっ

て新しい風を起こそうとしていた。文芸部の雑誌「む

ーせ」が東高のルネッサンスと称して運動を進めたとし、「おんちコーラス」は

ロシア民謡や、反戦歌などを昼休みに中庭で歌っていたことを思い出す。これ

を取り締まられたという記

出す。

自由闊達は活力の基です。卒業生のそんな思いを特集した。

## 規律ある自由



校長  
藤原 辰広  
(山25)

本校の前身である鳥取二中の開校に当たり、初代校長である林重浩先生は職員への訓示の最後に「規律ある自由に生きよ」という言葉で結んでいる。当時、全国の中学校では暴力が蔓延し、スト騒ぎもあったらしい。そういう乱暴、粗暴な学校ではない学校を作ろうとされたようだ。五十周年記念誌によると、当時は放課後、皆で一緒に作業や運動をしたお陰で、上級生と下級生の仲がよく、いじめがなかったとある。教員とも一緒に汗を流しながら作業をしていたので、互いの関係もすこぶるよかったらしい。ただ、生徒指導はかなり厳しく、生徒としてあるべき姿を厳格に指導したり、劇場への出入りや夜間一人での外出を禁止したりしている。このような状況を踏まえ、当時の二中の自由を「規律ある自由」

と称したようである。もう少し平坦な言い方をすれば、物事の始めを付けること、やるべきこととやってはいけないことの区別を明確にすること、これが「規律ある自由」なのだと思う。

本校における自由闊達な校風は、学生として遵守すべき規律ある生活を送ることによって培われたものと思われる。今では珍しくない「規律ある自由」が建学当時から精神であったところにも、林重浩先生の二中にかかれた思いがうかがわれる。

現在の本校を振り返ってみると、生徒指導は随分緩くなっているように思う。時代の流れがそうしているのかも知れないが、頭髪、服装を始めとする厳しい校則の中で生活された年配の方には違和感があると思う。「清潔・端正」という理念で指導を行っており、頭髪・服装検査も今では学期に一度である。それでも生徒たちは鳥取東高生という枠を大きくはみ出すことなく、節度ある日常を送っている。これこそが、連綿と受け継がれている鳥取東高の魂ののだと感じている。

## 東京支部

## 4当5落と生徒会

東京東雲会幹事長

岸本 郁男(山5)



本年、わが同級生諸氏は、めでたく傘寿を迎える。それを機に6月に東京浅草のビューホテルで山脈5回傘寿記念同窓会を開くことになった。

幽明境を異にされた方もかなりあり残念だが、世話人一同は意気軒昂で大いに盛りあがるだろう。

御同慶のいたりだが、この折、昭和28年前期の生徒会長としての所見を述べよとの依頼である。が、なにせ62年前のこと。過ぎてみれば光陰矢の如しだが半世紀以上も昔のことである。心身の随所に老化の兆しが顕著になりつつある傘寿老人の記憶力に自信のあるわけではないが、はるかに来るものかなの自省の念しきりの昨今、忘却の彼方より2、3の思い出をひねりだし責を果たすことにしよう。

あの当時「4当5落なる4文字熟語が流行った。選挙のことではない。受験生同士ひそかに囁かれていた睡眠時間のこと。つまり、睡眠4時間ならば志望校に合格する確率が高く逆に5時間は睡りすぎ確率が低いという訳。そしてこの風潮を受験誌が盛んにありまくる。こうした時代相の中での生徒会長就任であった。

貴重な時間の浪費ではないか、受験に影響はないかなど老婆心ながらの忠告もあった。

一方、御指名ならば、男ならば「止むなし」と、多少の悲愴感を漂わしての心境だったやに記憶している。

それにしても生徒会のタッチする範囲は広がった。文化部、運動部など部活動へ

の予算配布の調整をふくめ、全体を管理する経験を積ませていただき、その後の人生に大いに裨益したことは感謝である。

学校との関係も「市中行進事件」など多少の揺れはあったものの任期を了えた時は、正直ホッとした。

もうひとつ印象に残っているのは、現同窓会長八村輝夫さんのこと。紅顔の美少年で1年生の役員だった八村さんは、問題発生するや校内を奔走し解決に努めてくれたことをなつかしく思いだす。

生徒会長を了えた後の履歴は「老婆心」さんの期待に違わず、駿台予備校での浪人生活、慶應義塾大学(経)の卒業に5年を要したことなど波乱(瀾)と挫折の連続。だが、これは会長ポストに起因するのではなく、本人の資質の問題である。

現在の私は東京東雲会会長鈴木誠弁護士との幹事長職を、おおせつかつているが、東京東雲会は、毎年80〜100名の二中・東高のOBGの参加を得て総会を開きトーフ竹輪アゴ竹輪、砂丘スィカを賞味しながら高らかに校歌を唱えている。

私見ではあるが、東京東雲会は学校と関東在住卒業生の絆をつよめるのに重要な任務を果たしており、これを発展させながら次世代にどう引き継ぐかは私の終生の悲願である。

## 東海支部

## 平成26年度東雲会

## 東海支部活動報告

東海東雲会会長

中川 澄(山17)

H26.10.21(火)

支部総会案内の発送

H26.11.8(土)

東雲会東海支部総会・懇親会

東雲会会長 八村輝夫氏を鳥取から来賓としてお迎えして開催いたしました。

少人数ではありましたが、母校の話題などの話で大いに盛り上がりました。

来年は東雲会本部の協力を頂いて東海地区の卒業生全てに会報を発送し、東海東雲会の活動を活性化したいと話合って散会しました。

現実にはなかなか思うように進まず、いまだ会報の発行に結びついていませんが、27年度前半に発行したいと考えています。

27年度の情勢は一部の人が日本株の暴落を予想するなど、きびしくなる可能性がかなり高い物と想定しています。アベノミクスは私には借金で贅沢をしているだけのように見えます。今年のNHK朝ドラの主人公「まれ」が言うように「地道にこつこつ頑張るしか無いのでは」と思います。

## 京阪神支部

## 平成26年度京阪神東雲会

## 総会・懇親会の開催

当番幹事 井手野孝広(山31)

去る平成26年11月15日(土)に神仙閣神戸店において、第64回京阪神東雲会総会・懇親会を開催致しました。東雲会副会長の谷口様、井上様、鳥取東高校長の藤原様、鳥取県関西本部長の米田様をお迎えし、総勢71名が集いました。

京阪神東雲会では、卒業35年目(52歳前後)の同窓生が、総会・懇親会の企画、当日の運営の一切を行う「当番幹事制度」が確立されています。私は、3年前に鳥取



から大阪に転勤となり、見事当番幹事に当たってしまいました。関西在住の方々は、「当番幹事制度がある程度認識されていましたが、全く承知していませんでした。昨年の2月に、前当番幹事からの引継ぎがありました。その時点では、関西在住の当番幹事は、私を含めて3名しか集まらず、7月になってようやく6名となり、鳥取在住の鳥取幹事を含めて、何とか体制が整いました。総会当日までに、数回程度集まって、総会の企画や準備作業等を行いました。仕事の合間に業務を行うため大変であった反面、高校時代の話で盛り上がるなど楽しくもあり、また、会長さんを始め先輩の方々に加え、東雲会・東高事務局の方々に協力いただき、当日を迎えることができました。お陰で高校時代に面識のなかった同窓生を始め、新たなネットワークの構築は大きな収穫ではなかったかと思えます。



### 同窓会副会長 三上 晃君(柏19)の 逝去を悼む

わが柏葉19回生の代表幹事をしている三上晃君は80才を過ぎると心不全で3回救急車で病院へ。爾来、ペースメーカー使用し自宅でベッド生活を余儀なくされる。

元来、気さくで人付き合いはよく、話し上手聞き上手で人の面倒見は抜群。

来年末を記念して同窓会を主催することを思い出し、病床から対翠閣に電話で折衝する。級友の最も集り易い5月27日を選び予約する。勿論、彼自身もその時までには体調を整え勇躍出席する積りである。

しかし、何事にも責任感旺盛で強気の彼も力盡き、不帰の旅に立たれた。

さて、懇親会で

は、昨年8月にギネス世界記録に認定された「しゃんしゃん傘踊り」の鳥取幹事を中心とした披露や他の皆様の飛び入り参加で、ステージは鈴の音色と黄色い法被で華やかな雰囲気となり、



しゃんしゃん傘踊り

また、「鳥取〇×クイズ」で大いに盛り上がりしました。最後に「校歌」を合唱して盛会のうちに閉会しました。

今年2月に次期当番幹事への引継ぎは終わりましたが、今年度の当番幹事のフォローを行っていくとともに、4月から鳥取市在住となりましたが、今後とも京阪神東雲会の更なる発展を願っております。

思えば、彼は鳥取二中を4年で卒業するや、海軍士官を志して江田島の海軍兵学校に進み、終戦により帰郷。直ちに鳥取農専農芸化学科に入り、昭和23年卒業後、鳥取県警鑑識課に就職。技官を振り出しに係長、補佐と昇進し、45才の時、課長となる。その間、鳥取大学医学部法医学研究生、金沢大学医学部研究生となり、昭和48年金沢大学より医学博士の学位を授与される。その後、県警科捜研の所長となり、58才で退職。再就職は、住友電工顧問9年、県防犯連合会事務3年、メロン技研社長4年。彼は敬虔なるクリスチャンで、愛育幼稚園理事長12年。その間、鳥取ロータリークラブ会員22年、会長となる。

平成18年秋、瑞宝双光章の叙勲を受賞。目出度し。

彼は養生相かなわず、平成26年12月2日逝去。享年86才。謹んで衷心よりご冥福をお祈りする次第。合掌。 柏19回 奥村 豊

## 平成二十六年 会務報告

★六月、同窓会報「しのめ」第10号  
また、「東雲会会員名簿」第十一号を  
発行しました。

★六月二十三日(月)創立九十二周年  
記念式典が挙行了されました。今年は糸  
賀一雄生誕一〇〇年を記念して松田章  
義元校長先生から「糸賀一雄の思想と  
実践『この子らを世の光に』」と題し  
て記念講演をいただきました。

★七月五日(土) 東京東雲会総会に三  
名、十一月八日(土) 東海東雲会総会  
に一名、十一月十五日(土) 京阪神東  
雲会総会に三名の本部役員が参加し、  
交流を深めました。

★八月二日(土) 本部同窓会総会が開  
催され、京阪神当番幹事の井手孝広  
様をご来賓にお迎えいたしました。今  
年は、二年ごとに行われる役員改選が  
あり、別記のとおり承認されました。

任期は、平成二十六年八月から平成  
二十八年七月までの二年間です。

副会長		監査		名譽顧問		顧問(校長)		事務局長		事務局長次長		校内事務局次長		事務局専任	
八村 輝夫	(山7)	中村 忠文	(柏21)	安住 庸雄	(柏24)	倉恒 貞夫	(山3)	清水 昭允	(山6)	谷口 肇	(山8)	前田八壽彦	(山14)	四宮 昭彦	(山15)
井上 榮一	(山17)	福美 秀敏	(山24)	井上 弘子	(山28)	吉多 正乃	(山13)	常田 享詳	(山13)	藤原 辰広	(山25)	森本 政司	(山11)	木下 一朝	(山29)
木下 圭一郎	(山25)	村上 千春	(山39)												

### 同窓会報「しのめ」第10号の協力金納入の現況

同窓会員の皆様には、多大なご理解とご支  
援をいただきまして厚くお礼申し上げます。

10号の協力金納入は次のとおりです。

(平成27年3月6日現在)

★会員宛発送数	20,467部
★協力金入金件数	1,524件
★実質の協力金入金(協力金一振込手数料)	224万3,350円
★必要経費(会報・封筒の印刷・郵送費等)	323万4,850円

★第10号の納入状況は、協力金が必要経費を  
約99万円下回っています(赤字)。

独立採算による発行が危機的状況です。

この状況が今年も続けば特別会計から補填  
が必要です。

一層のご支援ご協力をお願いいたします。

\*現在の会報特別会計は、創刊号〜第3号ま  
での還元金(協力金が必要経費を上回った場  
合、その金額の8割が同窓会に入金)で賄われ  
ています。第4号以降は、還元金はゼロです。

### 鳥取東高等学校同窓会東雲会 定期総会・懇親会ご案内

日時 平成27年8月1日(土) 午後4時  
会場 「対翠閣(しいたけ会館)」  
鳥取市富安一丁目84  
☎(24) 8471  
総会(午後4時) 7階会議室  
懇親会(午後5時) 1階大広間  
懇親会費 4,000円

### 東京東雲会・夕べご案内

日時 平成27年7月4日(土) 16時30分  
会場 「法曹会館」 千代田区霞が関1-1-1  
☎03-3581-2146  
会費 一般 5,000円 学生 1,000円

### 東海東雲会総会・ご案内

日時 平成27年11月7日(土)  
12時~14時30分  
会場 「名古屋クラウンホテル」  
地下鉄「伏見駅」下車  
☎052-211-6633  
会費 男7,000円 女5,000円  
夫婦同伴10,000円  
初めての方3,000円 学生2,000円

### 京阪神東雲会総会・ご案内

日時 平成27年11月21日(土)  
12時30分~15時30分  
会場 「大阪キャッスルホテル」  
大阪市中央区天満橋京町1-1  
(京阪電車・地下鉄谷町線「天満橋駅」徒歩1分)  
☎06-6942-2401  
会費 7,000円(別途・年会費 1,000円)



# 第3回東雲会長杯ゴルフコンペのご案内

芝生の緑も濃さを増し、ゴルフ同好の皆さまにはラウンドを楽しんでおいでになる事と存じます。

早いもので東雲会長杯ゴルフコンペも三回目を迎えます。

昨年は九月に開催いたしました。が、各種行事と重なり、出場したいが日程が取れないという声が多くありました。

そこで、今年は一〇月一二日(月・祝日)体育の日に設定させていただきました。

出場者の数も定着し、同窓ということもあって和気あいあいとした雰囲気楽しんで頂いております。ただ女性のご参加が少なく、華やかさが不十分なのが残念です。

男女を問わず多くの東雲ゴルフ愛



第2回 ゴルフコンペ開会式

好の皆さんのご参加をお待ちしております。  
さわやかな秋の一日を古岡で楽しみましょう。

東雲ゴルフ大会会長 八村輝夫

実行委員長 安住庸雄

副委員長 橋本和憲

大会事務局 谷口肇

## 実施要項

一、日時 一〇月一二日(月)

開会式 午前七時五〇分

スタート 午前八時一六分

鳥取カントリー倶楽部(吉岡)

二、エントリー要領

卒業期単位、卒業期混成、

職域(東雲会員) 何れでも可

申込用紙に必要事項を明記

四、競技方法

ダブルペリア方式

五、参加費 一、〇〇〇円

(表彰式を含む)

六、表彰式 当日、会場にて

七、詳細は各組代表者に連絡します

八、申し込み九月二五日(金)締め切り

①従来、東雲ゴルフ会にご参加

の方には鳥取カントリー倶楽部

(吉岡)から往復乗書でご案内

いたしますのでお申し込み

下さい。

②ご案内の届かない初参加で希

望の会員の皆様は

東雲会長杯

実行副委員長 橋本和憲

スポーツショップハート

TEL 0857-211-7711

にお申し込み下さい。

③その他、問い合わせ・お申し込みは(専任職員の勤務は火・木曜日)

〒680-0061

鳥取県鳥取市立川町5丁目210

鳥取東高同窓会事務局

TEL 0857-221-8495

FAX 0857-221-8497

## 第2回東雲会長杯ゴルフコンペ報告

実行副委員長

橋本 和憲(山16)

第2回東雲会長杯ゴルフコンペが平成26年9月28日鳥取カントリー倶楽部吉岡温泉コースに於いて開催されました。一昨年は7月猛暑で35℃を超える気温となり熱中症が心配されましたが今回は好天に恵まれ30代、80代迄の64名の参加となり第1回を上回る大会となりました。

優勝は山根徹さん(山脈24回)準優勝は谷詰和史さん(山脈19回)、第3位は山根宏さん(山脈17回)、ベストグロス谷口博さん(山脈20回)、いずれも60歳前後のゴルフアールでした。64名中42名がグロスで100を切る好成績と実力者揃いで、楽しさの中にも多少緊張感ある一日を楽しんでいただけたものと思います。

特に今大会は元柔道部OB会(11名)職場単位(金融機関14名)同期の単位などグループによる参加など従来無かった参加形態もあり高齢化になりがちな同窓会コンペから楽しくて親しみを感じられる交流の機会の場となりました。呼び掛けていただいた皆様に感謝致します。

第3回目となる今年の大会はさらに参加者を増やす為に稲刈りの時期

をずらし10月12日(祝日)の日程を予定しております。決定次第ご案内致します。又より楽しいコンペにする為に皆様からご意見を募集しておりますのでご参加はもちろん、ご協力を宜しくお願い致します。

## 成績と参加チームの紹介

優勝	山根徹
準優勝	谷詰和史
3位	山根宏
4位	小林睦
5位	中崎勇吉
6位	松本泰尚
7位	西山林一
8位	常田禮孝
9位	安藤嘉美
10位	橋本和憲

柏24・山14・16	安住庸雄
岸本睦永	前田八壽彦
橋本和憲	
山7・13	八村輝夫
森勲	天野博太
吉多正乃	
山12	足立克之
松本泰尚	岸田憲保
霜村哲男	
山8	伊藤式
谷口肇	常田禮孝
沖広俊	
山19・24・32	谷詰和史
滝俊夫	角脇彰
森井良二	
山26・31・37	吉田和徳
石谷俊明	八杉寶留
池内徹	
山30・34・36・40	小谷拓司
小林睦	長尾慎二
大坪正雄	

山14・16・20	岡田奉幸
奥村宏明	浜橋博
山16・19・45	廣瀬浩一
今西正一	中崎勇吉
澤直人	
山16・21	西山林一
大場敏光	田中節夫
山17	玉川忠
井関顕人	田中幸雄
山17	山根宏
石谷雅春	民谷登志雄
安藤嘉美	
山27・29・58	田中耕二
河田伸司	伊藤翔平
山24・30・40	橋本正昭
熊楚御堂晋	山内晃
山23・24・41	谷澤讓
山根徹	谷口哲男
龜山秀行	
山22	家根和弘
澤口睦男	長尾隆久
宮城定明	
山20・22・24	谷口博
景下勝	松井俊明
岡田哲司	

# 新制鳥東高の 生徒会活動

## かくして 生徒会は生まれた

湯谷 英治（山2）

与えられた命題「草創期の生徒会」を語る時、戦後の抜本的な教育改革の足跡を辿ることを避けては通れない。この歴史的な改革は外から与えられたものであって、内部の真の要求によって醸成されて出来たものではない。何事にしても短兵急な改革や変動には、幾多の混乱や過誤を伴うものである。

学制の改革は既存の教育の解体そのものであり、中でも脈々と受け継がれて来た校名の変更はその表れであった。

一中、二中、県女、市女は一高、二高、三高、市立高へと校名を改め、更に昭和二十四年には、これらは統合

再編成されて、綜合制東高として開校することとなった。

新制高校の創設は、旧制中学を移行するという暫定的な措置に他ならないものであった。この様な学制改革は実に理解し難い荒仕事であり、正に「青天の霹靂」であった。

昭和二十五年に「鳥取県立鳥取東高等学校生徒会」が発足した。普通科、工業科、農業科ごとに生徒会が結成され、それらを大きく統括する形で自治会が作られた。

学校は生徒会、自治会の育成に意を用い、出来得る限り生徒の自主性、自律性を育てる姿勢を尊重し、強い指導や方向づけすることはなかった。

さて、ここで「第二回東高祭」を語っておかなければならない。十月八日から一週間に亘るロングランの一大イベントが繰り広げられた。中でも工業科グラウンドで行われた運動会は大々的な制限もなく作られた張子のシンボルが並べられ、実に圧巻であった。運動会終了後にシンボルに火が付けられ、生徒の熱狂は校歌の大合唱となり、この瞬間、今までの生徒会づくりの苦労が吹き飛ぶ思いであった。

はじめてのシンボル（昭和25年）

この年、普通科生徒会規約が前田寿男先生のご指導を受け、湯谷英治が原案を作成し、決定された。これら青春の思い出は尽きることがない。

## 伝えたい自由と自治の精神 「昭和二〇年代の生徒会」

谷口 肇（山8）

滔々と述べたてる熱弁に應えるヤジと怒号、入学当初の生徒総会には、まだ中学生の殻を尻にくっつけている、我々一年生にとっては、異次元の世界であった。

圧巻だったのは、東高祭の日程の縮小のことではなかったかと思うが、生徒総会で学校側と意見が対立した時のことである。

四時間目に設定されていたHRの時間いっぱい議論したが結論が出ず、指導主任の「教室に入れ」という指示に従って私たち一年生は一斉に立ち上がろうとしたその時だった。

『立つな！』という鋭い声が三年生の席から飛んだ。ぎょっとした我々はそのまま腰をおろしてしまっただ。

結局、全校六〇〇名、一人として席を立つものはなく講堂に座り込んで団体交渉の様相になり、昼休みを過ぎて五時間目に入るころ生徒会長以下数名の代表が意気揚々と帰ってきて勝利の報告をして満場の拍手を浴び決着した。

私は、いつになったらあんなに堂々と自分の意見を述べられるようになるかと思うと同時に、いつの日か必ず先輩たちのようになってやろうと心に決めたことを覚えている。そして、三年時、その時がやってきた。忘れもしない、当時、東高祭の一大イベントだった前夜祭の市中行進のコースの変更が学校側から提案された。

東高から小谷薬局を右折し、官庁から若校街道を経て末広通りを東進し学校帰着が従来のコースだった。

学校側の提案は、交通の障害になるとして、立川通りから中町・上町に抜け、二九号線を南下し小谷薬局から学校に帰るという案であった。

もとより、生徒側は大反対で執行部を中心に、頑として一歩も引かない決意で臨んだ。私も胸ふるいをしながらも「最近、東高は予備校化している。この学校祭縮小の流れはその証左だ！」と論陣をはった。

その直後、「もう一度言ってみーどこが予備校化してるか！」と指導主任M先生の大喝が飛んだ。満場がシーンとなった。小心者の私は、一瞬へこんだ。しかし、生徒たちの反対の聲がそれを押し返した。

結局、生徒会長以下代表との交渉にゆだねられ、従来通りのコースで実施することになり、市中行進当日は意気揚々と若校街道を闊歩した。

あの時、私たちは、鳥取農専（高農）以来、昭和四二年、最後の市中行進まで、数十年続いたイベントのコースを守り切ったのである。

しかし、今から思えば、ひょっとして、当時の生徒会担当の先生方の中では、一つのシナリオができていたのではないかと思う。一定の線を打ち出して生徒たちの動きをみる。そのうえで譲ることの出来るラインまで徐々に引いていく。生徒



威風堂々の市中行進（昭和39年）  
前方・鳥取県庁、手前左・鳥取家政高校（現・鳥取敬愛高校）

たちに自らの要求を実現していく過程を学ばせる。まさに民主主義の学校なのである。ホームルームも現在の形骸化したものではなく、生徒会の一単位として確かに機能していた。私たちは、先生たちの手の中で踊っていたのかもしれない。

しかし、間違いなく私の中にはあの経験から自由と自治の精神が根付いている。あそこが、今の私の生きざまの原点だったのではないかと思う。鳥取東高の自由と自治の精神も言葉だけでは教えることはできない。権利意識も自治の精神も、自らの体験の中でこそはじめて身につくものであることは間違いない。

校祖の精神をどう引き継ぐかが、今、鳥取東高にも求められているのではない。





「11匹のネコ」井上ひさし作を演ずる演劇部  
ミュージカルの音楽は部員の作曲(昭和61年)



弁論大会は東高祭始まって以来連続と続く  
弁士の主張は時代を反映して興味をそそる  
(平成7年)



書道展・美術展、活動の成果を  
(東高特設会場)  
現在は、とりぎん文化会館1階で  
市民にも公開(平成2年)



合唱コンクール本選会  
梨花ホールでの本選への出場を巡って全校が燃える  
(平成18年)



東高生徒会は恐怖の応援練習から始まった。  
写真は高校総体の壮行会か？(平成7年)(旧第1体育館)



「さあ！いっちゃい！」  
呼び込みの声が響く  
模擬店は体育祭前夜祭のハイライト  
(平成6年)



民謡を踊るのは3年生  
男の子も女の子も帯が結べない(平成3年)



肉弾相撃つ構うばい 女の意地がぶつかり合う(平成7年)



激突は女に任せ男は渾身の力で縄を引く  
(平成5年)



東高祭の幕を閉じる閉会式 「鳥取東高バンザイ！」の声が轟く  
(平成13年)



燃え盛るファイヤーを囲んでフォークダンスの輪が全校をつなぐ  
(平成3年)

## 誇り高き



## 鳥取東高生徒会



クラス旗の輪の中で選手宣誓 クラスの名譽をかけて声高らかに。(平成7年)



ファイヤーストームの終幕 突如、炎の文字(SUCCESS!)が！  
(平成7年)



ファイヤー点火式 手作りの聖火台に体育委員長が点火  
(昭和59年)



中庭でのロックファクトリー予選  
1・2位のバンドは、ファイヤーの時クランドで演奏  
(平成5年)



クラス対抗リレー応援風景  
ゼッケンとクラス旗を振って懸命の応援(平成5年)



クラス対抗リレーは体育祭の華  
桐生もしのぐほどの壮絶な男子リレー(平成5年)



シンボルを担いで市中行進  
昭和42年まで鳥取市内を練り歩いた



平成11年、クラス旗に移行  
伝統のシンボルも20世紀を最後に、東高祭から消える…



クランドのトラックを行進 羽ばたくヘガサス・動くシンボル全盛の時代  
(平成元年)



## 生徒会長は語る

五百川 皓 (山4)



今、五十数年前の事を思い出しております。その頃は生徒会活動は活発

で生徒会は激論が飛び交いました。生徒会長選挙は三名の立候補者があり応援者が良かったのか大差をつけて私が当選いたしました。私を支える副会長や各委員長は、こころよく三年生が受けてくれ万全の態勢でスタートが切れました。生徒会長在任中で一番印象に残っている行事は、伝統の東高祭でした。五日間あり運動会の前日の午後、全校生徒九百余人が、私の掲げる校旗を先頭に各クラス単位で作製したシンボルを担いで、智頭街道から県庁前を通り、若桜街道を行進して帰校するコースを練り歩きました。今の交通事情ではとうてい考えられない事でしょう。当時は校内行事も多く、全校のクラス単位で競う球技大会、陸上大会、武道大会の他、文化祭も盛大で、年中イベント対応に追い回された記憶が強烈に残っています。生徒会の提案で東高に初めての食堂がオープンしたのもこの年でした。七ヶ月間の思い出は強烈でした。

## 市中行進中止の顛末

国富 一郎 (山20)

一番心に残っているのは東高祭のメインである市中行進が、交通事情悪化の為中止せざるを得なかったこ

とである。西高は前年に中止していたように思う。生徒会顧問の新万先生から事前に、実施は困難なことを聞かされていた。このことを全校生徒にどのように伝え納得してもらうかを会長に任された。確か当時生徒総会に代わる議決機関として、各学級の室長・部活動部長・生徒会執行部員で構成された生徒会委員会が、月一回行われていた。その席上で、市中行進を中止せざるを得ない理由を縷々説明したが、誰も納得する者はいなかった。中でも一番鋭く市中行進の実施意義を訴えていたのがM君だったように思う。最後は生徒会顧問の新万先生の懸命の説得で一堂決着承知したので記憶している。

そのM君と二人三脚で事務局長と代表幹事として、山脈20期の卒業20周年記念同窓会から昨年開催した45周年記念同窓会まで関わってきたことに、不思議な縁を感じている。

※注 シンボルの市中行進は昭和25年にはじまり、昭和43年に中止となる(事務局)

## 第40回東高祭を振り返る

植村 和博 (山41)

当時、各学年が11クラスあり、全てにおいて飽和状態。ステージ発表のバンドの予選も1日がかりでした。後年、同級生でこの予選に出場していたバンドメンバーの中から東京スカパラのギタリストが誕生しました。(今思えば、生演奏を聴いた幸せ！)

体育祭のシンボルを全学年が作るうにも、グラウンドにすべてを並べるのは物理的に無理。苦肉の策で、

1年生だけシンボルの代わりに壁面を作るということにしました。シンボルに爆竹を忍ばせるのも恒例でしたが、前年、尋常ではない爆竹の量に消防車が出動する事態を引き起こしたため、生徒会では「爆竹ゼロ」を掲げ、体調不良で休んでいる体育祭実行委員長の声を録音し、みんなに呼びかけたりもしました。結果、爆竹が鳴ることはなく、先生方が目を丸くしていたのを覚えています。

とにかく人数が多く、全てが力オスで妙な活気で溢れている学年でした。東高祭後、燃え尽き症候群になり浪人をしたのも、今ではいい思い出です。

## 平成10年前期生徒会長

林 善幸 (山1)

生徒会活動で特に心に残る思い出は「瞬間、心を重ねて」をテーマに実施した東高祭である。全校生徒および先生方の協力のおかげで、本校にふさわしい盛り上がりの中に無事終わることができたが、開催前から終了まで、苦難の連続であった。その中でも環境問題(地球温暖化やダイオキシン問題等)へ配慮した運営が求められたため、伝統であったシンボル作成やファイヤーストーム廃止を決断しなければならず、生徒の不満の受けとめや代替企画をどうするかなど悩みが尽きなかった。課題解決には困難も多く、部員へ過度な負担をかけた関係各所へも迷惑をかけた。しかしながら、何をやれば成功に繋がるのかわからないものでも生徒主体でチャレンジさせていただけ

## 人が環境を作り、環境が人を育てる

奥田 哲也 (山59)

この度は私のような若輩者に寄稿の機会を頂きありがとうございます。多くの諸先輩、後輩の方々にご覧頂くことを考慮し、ここでは人の成長について、挑戦することと挑戦させることの二つの側面から語りたいと思います。

会社勤めをしていると、私を含む若手は「挑戦して成長したい」と言い、上司は「ほとんど挑戦しなさい」と言います。

しかしここで大切なことは、果敢に挑戦する人に対して、思い切った挑戦できる環境を提供できているかということなのです。破れかけた帆やちぎれかけのゴムのランポリンでは不安の余り思い切ったジャンプ出来ないように、安心できる環境が思い切った挑戦を促します。挑戦させる側は、挑戦を容認することに加え、安心して挑戦できる環境を作り、提供することが大切です。

挑戦する意志と、それを支える環境との相乗効果が、人の成長を一層加速させると私は思います。私自身、まだまだ挑戦し成長することが期待される身ですが、一方で挑戦者

の心の支えとなる環境作りの一助となるよう、日々挑戦、日々学習であります。

自治会長・生徒会長一覧  
(昭和24年～27年)

27年		26年		25年		24昭和	
後	前	後	前	後	前	後	前
生徒会	自治会	生徒会	自治会	生徒会	自治会	生徒会	自治会
井戸垣 彰	高木 亮	洗井 敏雄	湯谷 英治	安引 宏	入江 晃	藤岡 幹恭	――
	(工業科)	太田 敏輔	(工業科)	(工業科)	達郎	(工業科)	

※昭和24年、新制鳥取東高(3科総合制)が開校

※初代自治会長は3科の代表

※昭和25年、生徒会が発足し、普通科全校の代表

※昭和25年、第2回東高祭を開催し、クラスの新シンボル作りと市中行進が開始する。

※昭和28年、高校再編成によって鳥取東高が普通科単独高校として再出発。生徒会長(前期・後期)のみとなる。

歴代生徒会長一覧（昭和28年以降）		昭和28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年	41年	42年	43年	44年	45年	46年	47年																
前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後																
生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会																
岸本 郁男	田中 修	成川 隆顕	村上 和久	村上 和久	橋本 満夫	安藤 文夫	伊東 迪之	山本 哲也	井上 智	村上 仁	酒井 啓行	永原 昭	山村 健	常田 享詳	若林 鉄男	五百川 皓一	田中 光生	小林 和人	野村 恭三	中林 澄夫	倉沢 卓也	大石 久生	平山 泰男	三浦 修	三谷 哲郎	三谷 哲郎	森 孝夫	国富 一郎	松田 哲明	夏目 博和	漆原 文雄	林 順二	国富 堅志郎	奥田 真三	西尾 克美	見染 彰繁	藤原 辰広

5年		4年		3年		2年		平成元年		63年		62年		61年		60年		59年		58年		57年		56年		55年		54年		53年		52年		51年		50年		49年		48年	
前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後
生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会
橋本 直人	林 耕介	林 耕介	森下 大輔	森下 大輔	前田 純司	執行 健作	清水 崇	玉木 真人	植村 和博	中澤 佳孝	岡野 正裕	岡野 正裕	藤田 敦	岸 三良	中田 弘文	平井 禎人	田口 洋輔	田口 洋輔	太田垣 聡志	山崎 修	山崎 修	徳持隆二郎	坂本 親雄	泉 将則	保田 末春	谷口 徹	尾崎 毅	常村 忠	岩崎 孝一	尾崎 行雄	竹島 一郎	奥田 照雄	近藤 一範	井元 義幸	浅井 一	安藤 正樹	西浦 幹茂	田村 健二	福田 収	山本 英一	入江 勝

26年		25年		24年		23年		22年		21年		20年		19年		18年		17年		16年		15年		14年		13年		12年		11年		10年		9年		8年		7年		6年	
前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後
生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会	生徒会
岸本 拓己	岡村 拓斗	岡村 拓斗	神波 雅人	神波 雅人	中山 紗希	中山 紗希	西面 賢治	西面 賢治	秋田 拓之	秋田 拓之	小山 友寛	小山 友寛	西谷 泰亮	安富 拓馬	奥田 哲也	島崎芽衣子	嶋本 巧	本多 正和	垣谷 良磨	垣谷 良磨	矢野 正雄	矢野 正雄	松本 佳奈	山内 智紀	北村 良太	北村 良太	吉田 梨沙	吉田 梨沙	加藤 泰明	石谷 聡	福田 愛子	山根 正樹	林 善幸	森藤 博士	竹森 敬祐	竹森 敬祐	岸本 一也	上田 悠樹	武田 卓也	武田 卓也	谷口 雅裕

## 我ら同期生

柏葉23期生卒後65周年同窓会

上田 陽一(柏23)

「老老介護」と生活は違っていても、会えば青春時代にタイムスリップ、和気藹々、酒宴はあつと云う間に満開となり、お互いの健康や再会を誓い名残を惜しみながらの散会となった。

「今日の出合いも」

生涯の大切な一日なり」

これからも「忙人不老」の精神に生き、東京オリンピックも見たいし、卒後70周年の88才の米壽で皆が一堂に会したいものである。



去る平成24年10月有終の美を飾ったつもり同窓会も、意気盛んな有志により「吞23会」に生まれ変わり、四季折々の集いで楽しいドラマを奏でながら至福の時を刻んで来た。

今回は馬令83才、卒後(旧制中学校)65周年と云う大きな節目を迎え、改めて有終の美を飾るべく開催(平成26年10月23日鳥取市食事処呑竜)。全国から22名が集い熱気あふれる会となった。

最初に障害者福祉の父と云われ、生誕百周年を迎えられる糸賀一雄大先輩の偉業を紹介、次いで写真撮影、物故者の霊へ黙祷、校歌を斉唱し開宴、「一病息災」



## スポーツに燃えた1年

馬屋原育子（山3）

昨年6月1日に、7ルームの会を開きました。私達は昭和24年4月人生初めての男女共学の鳥取東高校1年生となりました。担任は早田 悟先生でした。それまで男女別々に学んできたのに急に一緒に教室で学ぶとなると、思春期でもあり恥ずかしくてろくに話もしませんでした。

ところが1年間通して全校で様々な競技の得点を累計して争う事になりました。我クラスは優勝目指して一致団結し、全員が力一杯がんばりました。私は、プールに入った事が一度もなかったのですが、3点も入ると言われ泳げないのにプールに入りました。この様にクラスが一丸となって努力した結果、優勝という栄誉に輝きました。受験戦争も無く心にゆとりがありました。振り返れば、たくさんの思い出を作りがら生きて80年。毎年の7ルームのクラス会で学生時代の気持ちに戻って話すのを楽しみにしています。

山脈八期喜寿記念  
成人式の集い次第

谷口 肇（山8）

全ての仲間が喜寿を迎え、目度度く光輝高麗者となった平成二六年一〇月九日 成人式と銘打って五三名、我らが定宿「いたけ会館對翠閣」に集った。ゼロ次会と称して開会二時間前から三々五々集い、ワイン等を傾けながら、それぞれの過ぎ越し方、そして、心の赴くところを語った。やがて一次会大宴会校歌を高らかに歌い、スクリーンに映る紅顔可憐な美少年、花も恥じらう乙女の姿に、在りし日の恋心をくすぐられつつ、快く美酒に酔った。



三次会は同会館の一室を貸し切り全員が集って尽きせぬ愛惜の情を深更まで語り続けた。

翌日の四次会は、同期の沖 廣俊氏のガイドで国府町の文化財、砂丘美術館、玄忠寺を廻り別れを惜しみつつ散会した。

高校一年生の出会いから六〇年を経て暦は還った。

未知の八〇代、九〇代への再出発である。人は所詮、独りにて産まれ、独りにて死にゆく。

卒業の時、二百十通りの人生に飛び立ったように、燃え尽きる時まで輝き続けることを誓って最後の同窓会の幕を閉じた。

ボケないで美しく  
老いるための修学旅行

両川 洋々（山14）

私達東高三八会（S38年卒・山脈14回）では、今年も4回の楽しい行事を実施しております。

春4月は二の丸で花見でスタートを切り、5月は1泊2日の修学旅行、8月は暑気払いと称してビアガーデンへ、12月は忘年会でトコトン飲みまくりです。その他にも仲間の新築祝いや退院祝い、Uターン組の歓迎会等々があり、いつでも一声掛ければ集えると言つ心強さがあります。

さて、修学旅行ですが、昨年は隠岐の島へ、それ以前は神戸、四国、京都、松江等へ出掛け、高校生気分に戻りして大いにはしゃいでおります。この修学旅行に欠かせないのが山本徹君で、彼

は日交バスで観光課長をやった観光旅行のエキスパートですから、宿や乗り物の手配から観光地の設定を含めた、全行程をプロデュースしてくれます。山本君が健在な限り、この修学旅行は限りなく続く事でしょう。

当面の夢は2020年の東京オリンピックへ、修学旅行を兼ねて応援に行く事を誓っています。元気過ぎる三八会の面々ですよ。



まだかの要望に応え、急遽県内中心に案内をしました。七十五名の参加があり、遠くはドイツや沖縄から駆けつけてくれました。

尾室真郷氏の進行により、物故者へ黙祷をささげ、宴席に移りました。代表数名にスピーチをしてもらいましたが、故郷への思いや、すでにリタイヤして第二の人生を歩んでいる様子など、エピソードを交えながら、面白くお話しに盛り上げてもらいました。そんな年齢になったのだとしみじみと実感した一時でした。

次回は還暦を祝い、全国に広く呼びかけ、華々しく開催することを約束して散会しました。



## 昭和五十二年卒業生同窓会

代表幹事 橋詰 勝人（山29）

平成二十六年十月四日、白兔会館にて五十五歳の集いを行いました。平成二十年の同窓会から六年が過ぎ、次は

# 「絆」こそ宝！

岡本 尚也（山45）

昨年8月に平成6年度卒業20周年同窓会をホテルニューオータニ鳥取にて開催いたしました。

卒業年の学年主任であった山崎勤先生をはじめとする8名の恩師に出席して頂き、総勢127名で同窓会を開催しました。地道な呼びかけの甲斐もあって、遥かアメリカ、オーストラリアで活躍する同窓生も顔を出してくれました。脈々と東高の伝統として受け継がれている、同窓生たちの「絆」の強さを実感した夏の夜の楽しい宴でした。

卒業20年という時の長さを埋めるかのように、会場のあちこちで懐



かしい思い出話や、この20年の歩みの語らいに花を咲かす山脈45期生たちの姿がありました。教え子たちとの久々の対面に喜ばれていた恩師の表情も随所で見られ、3時間の会を閉じるのが惜しい位に盛況でした。

次回（5年後）は、もっと多くの仲間にも再会できることを期待、いや確信しています。山脈45期、バンザイ！

## 山脈35回卒業30周年同窓会

原田 晋一（山35）

平成26年8月16日（土）に白兎会館で昭和59年度卒業生の卒業30周年同窓会を開催しました。ご多忙のところ、我々山脈35回生のために井上悦生先

生 大原洋二先生、坂本英昭先生、谷本正道先生、横山雄先生の5名の先生に出席いただき、近況報告や当時の思い出などを話していただきました。

今回は卒業20周年の同窓会以来、10年ぶりの同窓会。多くの方が早くから来場し、73名の出席者は10年ぶりの人や30年ぶりの人など、受付もそこそこの思い出話に花が咲き、あつという間の2時間半でした。次回の同窓会は5年後に：いやいや3年後にしようなどと話しながら閉会し、楽しいひとときを過ごしました。

最後に、準備や人集めにご尽力いただいたすべての皆様、本当にありがとうございました。うございました。



## 平成二十七年 進路状況

## 進路状況

### 平成二十七年入試の状況

進路部長 竹島一郎（山31）

ンジしていきました。

平成二十七年入試における本校の国公立大学合格者数は、一六五名でした。地元の鳥取大学に五十三名が合格し、医学科にも進学を決めています。本年度は、理科・数学において新教育課程が先行実施された初年度の学年のため、特に現役生には理科にかなりの負担がかかる入試でした。センター試験では、国語の平均点が二十点上昇する中、理科で十七年ぶりの得点調整があるなど混乱もありましたが、全体的には昨年度並みの状況の中、二次試験にチャレ

また、就職については、警察官及び民間就職希望者全員が合格しました。なお、過去五年間の合格者の状況及び主な大学の合格者数は左の表の通りです。  
（平成二十七年四月末日）

	H23	H24	H25	H26	H27
国公立大	166	184	158	157	165
私立大	296	348	352	343	407
短大	42	32	42	31	39
専修学校	59	62	52	72	65
計	563	626	604	603	676

### 主な大学の合格者数

大阪大学	1	岡山大学	11	慶應義塾大学	1
北海道大学	1	広島大学	5	青山学院大学	3
千葉大学	2	香川大学	4	明治大学	3
東京学芸大学	1	愛媛大学	11	同志社大学	15
信州大学	3	高知大学	3	立命館大学	28
名古屋工業大学	1	岐阜薬科大学	2	龍谷大学	16
大阪教育大学	3	京都府立大学	2	関西大学	13
鳥取大学	53	大阪府立大学	2	関西学院大学	9
鳥根大学	13	鳥取環境大学	7	近畿大学	28



## 【全国大会】

部 名	男女	大 会 名	結 果・成 績 等
バスケットボール	男子	全国高等学校総合体育大会(千葉県開催)	出場
		全国高等学校選抜優勝大会(東京都開催)	出場
柔 道	女子	全国高等学校柔道選手権大会(個人戦(東京都開催))	出場
		全国高校生書道パフォーマンス甲子園(愛媛県開催)	準優勝
書 道		第48回高野山読書大会(和歌山県開催)	金剛峰寺賞・菅長賞・毎日新聞社賞・南山賞・高野山書道協会賞
		第43回サンデー毎日学生書道コンクール(東京都開催)	毎日新聞社賞
		第23回国際高校生選抜書展(大阪府開催)	毎日新聞社賞
放 送		NHK杯全国高校放送コンテスト(東京都開催)	出場
		全国高等学校総合文化祭 囲碁の部(茨城県開催)	29位
囲 碁		第38回(文部科学大臣杯)全国高校囲碁選手権大会全国大会(東京都開催)	ベスト16

## 【県高校総体】

部 名	男女	種 目・成 績 等	備 考
陸 上 競 技	男女	入賞6種目	中国大会出場
バスケットボール	男子	団体優勝	インターハイ出場
	女子	団体3位	
バレーボール	男子	団体2位	
	女子	団体2位	
卓 球	男子	団体ベスト8 シングルスベスト16 ダブルスベスト16	
	女子	ダブルスベスト16	
ソフトテニス	男子	団体ベスト8 ダブルス 17位	中国大会出場
	女子	ダブルスベスト16	中国大会出場
サ ッ カ ー	男子	団体ベスト8	
	女子	団体2位	
テ ニ ス	女子	ダブルスベスト16	中国大会出場
	男子	団体総合優勝	
水 泳	女子	団体総合優勝	中国大会出場
	男女	優勝9種目 入賞上記以外13種目	

## 【県高校総文祭】

部 名	男女	種 目・成 績 等	備 考
吹 奏 楽		フルート独奏 優秀賞	
放 送		アナウンス部門 優秀賞	平成27年度全国高等学校総合文化祭出場
邦 楽		朗読部門 奨励賞	近畿高総文祭出場
		日本音楽の部 優秀賞	第38回全国高等学校総合文化祭出場
囲 碁		優勝	近畿高総文祭出場
将 棋		第7位	近畿高総文祭出場

## 【各種大会】

部 名	男女	大 会 名	種 目・成 績 等	備 考
陸 上	男子	鳥取県高校新人戦	個人	
	女子	鳥取県高校新人戦	個人	中国大会出場
バスケットボール	男子	鳥取県高校新人戦	優勝	中国大会出場
		鳥取県高校新人戦	第5位	中国大会出場
柔 道	男子	鳥取県高校新人戦	個人	中国大会出場
	女子	鳥取県高校新人戦	第3位	中国大会出場
卓 球	男子	鳥取県高校新人戦	ベスト4	中国大会出場
	女子	鳥取県高校新人戦	ベスト6	中国大会出場
駅 伝	男子	鳥取県高校新人戦	第8位	
	女子	鳥取県高校新人戦	第4位	中国大会出場
テ ニ ス	男子	鳥取県高校新人戦	個人	中国大会出場
	女子	鳥取県高校新人戦	個人	中国大会出場
ボ ー ト	男子	鳥取県高校新人戦	舵手付クオッド優勝	中国大会出場
	女子	鳥取県高校新人戦	舵手付クオッド第2位	中国大会出場
サ ッ カ ー	女子	鳥取県高校新人戦	準優勝	
		鳥取県高校新人戦	第2位	中国大会出場
弓 道	男子	鳥取県高校新人戦	個人	中国大会出場
	女子	鳥取県高校新人戦	個人	中国大会出場
水 泳	男子	鳥取県高校新人戦	個人	中国大会出場
	女子	鳥取県高校新人戦	個人	中国大会出場

## 部活動報告

生徒会 田中 智基(山50)

鳥取東高校は文武両道を掲げ、それを高いレベルで両立させようと、生徒・職員ともに日々精進しています。昨年度も多くの部が活躍いたしました。

文化部では、書道部が今年で5年連続となる全国高校書道パフォーマンス甲子園に出場しました。今年度の作品は「巻き起こせ」というテーマで構成し、デザインには中国の建造物に使われる丸瓦を用いました。また振り付けはバレエをベースに考案し優雅な振り付けにし、臨んだ大会でした。残念ながら優勝は逃したものの、書道的な研究もなされ、見ていて気持ちの良い



また、邦楽部、将棋部が近畿高総文祭に出場。全国高総文祭には囲碁の部

演技だった」との高評価をいただき、準優勝を果たしました。個人の部として出場した高野山競書大会においても、金剛峰寺賞(全国3位相当)サンデー毎日学生書道コンクールでは毎日新聞社賞(全国3位相当)を受賞し今年も大活躍でした。放送部はNHK杯全国高校放送コン

で出場を果たしました。運動部では、男子バスケットボール部が全国高校総体に6年連続の出場を果たしました。全国選抜大会にも6年連続で出場しており、全国大会へは12大会連続で出場中です。また今年度、柔道部は10年ぶりとなる全国選手権大会に出場を果たし古豪復活となりました。陸上競技部から、4年ぶりに都道府県女子駅伝に鳥取県代表として出場しました。県総体においては、水泳部が女子は6年連続、男子は3年ぶりとなる総合優勝。個人でも男女合わせて9種目で優勝を果たす活躍でした。涙をのんだ男女バレー部、女子サッカー部は準優勝に終わりましたが、今後につながる

経験となりました。県新人では、男子バスケットボール部、ボート部の優勝、男子弓道部は団体2位をはじめ多くの部が中国大会出場を果たしました。その他にも県総体・県新人大会等での上位入賞や中国大会へ出場した部が多数あり、学校全体に活力を与えてくれました。また、学校内においても部に所属している生徒は挨拶・服装・礼儀などがしっかりとっている者が多く、学校全体に締めまりある雰囲気を作ってくれています。各部活動が切磋琢磨することがお互いに刺激となり、ともに高め合う。大会結果を讀みあい、そのプロセスの中



で生徒・職員が繋がっていく。そして学校がひとつのチームとなる。『チーム鳥取東』として今後も全生徒・職員がひとつになれることを願っています。近年、県外大会で同窓会の皆様の声援を受けることが多くなりまして。全国大会の日程・会場等を、本校HPにて随時お知らせしております。今後大会にぜひ足を運んでいただき、後輩たちを生々の声で応援していただければ幸いです。

## 編集後記

木下圭史郎(山25)

私の母校勤務もあと1年。還暦を記念して「鳥取マラソン(フル)」に挑戦した。鳥取砂丘からスタートし、丸山、仁風閣、県庁、宇部神社辺りまでは各町内会、特に幼児、小学生たちの応援に励まされた。また、這うように目指したフィニッシュ地点の布勢陸上競技場では高校陸上部のハイタッチがうれしかった。走行中、初春の自然豊かな鳥取を再確認した。地方創生は遅すぎた感があるが、全国で活躍されておられる同窓生諸氏、第二の人生を山陰新幹線はつきそうもない故郷鳥取ですこされてみてはいかが?とご案内申し上げて編集後記とします。